

日本歯科新聞

2018年(平成30年)

11月13日

<発行所>

日本歯科新聞社

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-15-2
電話 03 (3234) 2475
FAX 03 (3234) 2477
厚生労働省記者クラブ加盟社
年間購読料19,440円(送料込)
(本体18,000円+税)
月4回、火曜日発行
郵便口座番号 00120-5-130369

本紙のサイトとメールアドレス
www.dentalnews.co.jp
jdn@dentalnews.co.jp

歯髄保存テーマに 臨床ミーティング

POIC研究会

POIC研究会(米山武
義会長)は4日、東京都中央
区のアットビジネスセンタ
ー東京都八重洲通りでクリ
ニカル・ミーティングを開
催した。
テーマは「歯髄保存への
POICの可能性」で、小峰



原田氏

一雄氏(埼玉真開業)、大島
晃氏(千葉真開業)、原田圭
一氏(神奈川真開業)、同会
理事長の矢島孝浩氏(山梨
真開業)らが登壇。

歯科治療の中で、毎日目
にする歯髄について、「先制
医療を大きく発展させるカ
ギ」と位置付け、再生医療
にも踏み込んだ議論を展開
した。

同会理事の東京クリニッ
クの山田累美子氏(看護師)

投稿/募集
800字以内。郵送
またはFAX、メール
で。

日本歯科新聞社

が進行し、歯髄の構造、歯髄
バンク、根管の細菌に関係
する病気、歯髄保存治療か
ら、歯髄由来間葉系幹細胞
による治療などについて、
各専門領域の最新知見が紹
介された。

このうち、原田氏は、歯髄
保存の武器としてストリー
クレーザー(マルチパルス
YAGレーザー)、POIC
ウォーター、ドックベスト
セメントなどを挙げ、診療
環境、診断、微小漏洩防止の
措置が重要だと強調した。

今回のミーティングは、
国からの指導の下に先制医
療の登録をしている医療機
関と、同会の登録医院との
コラボレーション活動を具
体化させるために企画した
もの。